

# 平成12年度中央大学の決算について

## 経 理 部

平成12年度中央大学の決算について概要をお知らせいたします。詳細は学生部事務室窓口備え付けの平成12年度決算報告書及び説明書をご覧ください。

資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表などの決算財務諸表は、大学の資金事情、経営状況及び資産内容をあらわしたものです。言い換えれば、教育・研究諸活動を財政面から示す会計情報です。これらの財務諸表のうち資金収支計算及び消費収支計算のもつ役割については、本誌2001年6月号の「平成13年度の中央大学収支予算について」で説明しましたので参照してください。また、貸借対照表は、期末における大学の運営に必要な資産の保有状況及び負債、基本金の状況をあらわしています。

### 1. 資金収支状況

第1表のように、平成12年度決算における当年度の資金収支差額は、予算を11億4,200万円上回って19億8,700万円の支出超過となりました。これは、将来の大規模な施設の取替更新に必要な財源を確保するには特定資産の充実が不可欠であることから、予算を上回った収入等の予決算差異を財源として、次年度に必要な繰越支払資金を確保しつつ、一定の範囲内で増額して繰り入れることとし、施設等拡充引当特定資産に39億1,000万円予算を上回って繰り入れたことが大きな要因であります。

予算対比で資金収支を概観すると、収入では、寄付金、事業及び借入金等収入等が減少しましたが、学生納付金、前受金、手数料及び資産運用収入等が増加したため、当年度収入合計は予算を上回りました。なお、資産売却収入は、岡田錫淵法曹記念館の売却収入を計上したものであります。

一方、支出では、人件費、教育研究経費及び管理経費等が減少しました。これは、予算に計上した事業計画はほぼ順調に執行されましたが、執行時に極力経費の節減を図ったためであります。施設関係支出の大幅な減少は、3新棟の着工時期が繰延べになったためであります

が、その分が振り替ったことと、杉並高校建設費借入金の一部借替えを行ったことによる借入金返済の増及び上述の特定資産繰入増により、資産運用支出が予算を大幅に上回りました。

以上の結果、上記のとおり支出超過となったわけではありますが、次年度繰越資金は予算より8億8,100万円増の156億6,500万円となりました。

関連して、学生数の推移を第2表に、入学志願者数及び手続者数を第3表に、教育・研究に関する目的別の主な支出項目と決算額を第4表に、教職員数の推移を第5表に、資産図書蔵書状況を第6表に示しておきますので参考にしてください。

### 2. 消費収支状況

本年度の消費収入は、納付金等の帰属収入が予算より増加するとともに、収入控除科目である基本金組入額が減少したため、予算対比19億6,500万円の増加となりました。

一方、消費支出は、人件費、教育研究経費や管理経費等が減少したため、予算を6億2,800万円下回りました。

この結果、当年度消費収支差額は、予算より25億9,300万円改善し、3年ぶりに24億5,200万円の収入超過となりました。しかし、翌年度繰越消費支出超過額は23億4,700万円で、本年度の収入超過額だけ好転はしたものの、本学の収支均衡への道は相変わらず厳しい状況にあります。

なお、基本金組入額の内訳は、第7表のとおりです。

### 3. 貸借対照表

前年度末に比べ、資産の部では、図書の購入、奨学基金や奨学金貸与及び施設等拡充引当特定資産等の増により固定資産が増加しましたが、支払資金の減少により流動資産は減少しました。

一方、負債・基本金・消費収支差額の部では、学校債の募集により固定負債が増加し、ま

た附属高校改修工事等による第1号基本金の増により基本金が増加しました。

なお、資産から負債を差引いた正味財産は資産の増加により1,017億 2,500万円となり、前年度比で43億 3,200万円増加しました。

なお、借入金の償還状況は第8表のとおりになっています。

#### 4. 財政状況と中期展望

近時の財政運営をふりかえってみると、重い負担となっていた多摩校舎の建設及び理工学部校舎の増改築に伴う借入金の返済を平成8年度に終えたあと、遅れていた教育・研究条件の整備に関する緊急的な諸要求に応えるとともに、前受金保有率の向上、基金の拡充、引当資産の積み立て等を図って財政基盤の強化に努めてきた軌跡が浮かび上がってきます。

その直近における到達点として平成12年度の決算を総括すれば、平成9年度以来3年ぶりに消費収支差額が24億円の収入超過となるなど財政状況は着実に改善されてきていると評価できます。

しかし、収入面では、帰属収入の柱である学生納付金について、夜間部改廃と臨時的定員の半減等により財政に大きな影響が予想されましたが、学部学生数の増加、昼夜開講制の導入、大学院の拡充、編入学、科目等履修生の受け入れなどの増収策を図ったことにより、短期的には大幅な減収とはならなかったものの、中長期的にみると規模の伸びに期待はできず、あわせて、景気の動向が依然として不透明な中、学費水準の動向にも十分な注視が必要であります。また、帰属収入の一割弱を占める補助金についても国家財政の逼迫化から増額の見通しは立たず、今後は、寄付金、外部資金の導入、資産運用収入、事業収入等の増収策を早急に図り、安易に学費に依存しない収入構造の確立を図る必要があるなど、依然として多くの課題があります。

一方、支出面をみると、急速に進展するIT革命に即応した情報環境の整備・充実、不況下における奨学金需要の増加、多様化・高度化する教育に対応するための教員組織の充実、施設設備の保全費（ライフサイクルコスト）への備えなど財政需要は増加傾向にあり、間接費の節減のみならず、人件費に踏み込んだ支出構造の見直しを早急に断行しなければならない状況に

あります。

こうした収支両面の課題を考えれば、平成12年度決算において消費収支のバランスが回復したことをもって、直ちに中長期の財政目標が達成されたと過大評価してはならないが、少なくとも念願であった中長期的な視点に立った事業の展開を展望できる財政基盤が、近時整いつつあることは間違いのないといえます。

即ち、今期理事会が最大の使命としている「21世紀へ向けての本学の総合的な改革に関する理事会基本方針」の実現についても、それを担保できる財政的な見通しを立て得る状況にはなったのであります。例えば、去る3月、キャンパス整備計画や専門大学院の創設等の具体案を盛り込んだ創立125周年記念事業計画が評議員会で承認され、その具現化に向けて一步を踏み出し得たのも、こうした背景があったからにほかなりません。

ちなみに、これらの事業計画では、第一次キャンパス整備として後楽園キャンパスに理工学部等関連施設1棟、多摩キャンパスに学生生活関連施設1棟と国家資格試験受験者のためのオフキャンパス施設1棟、合計3棟の建設を計画し、平成15年度までの竣工を目指しています。また、専門大学院では平成14年4月に国際会計研究科を、その後引き続き法科大学院（ロースクール）の新設を予定しており、あわせてここ5年間において130億円以上の膨大な資金需要が見込まれるが、これらの資金調達についても、今後10年間の施設設備費の一部と新生父母からの寄付金を充てれば、経常収支に影響を与えないですむという展望もてたからこそ計画化されたわけです。

新世紀を迎え、わが国の高等教育機関は競争的環境の下で、多様にして特色のある教育・研究の推進が期待されています。平成12年度決算を踏まえ、今後とも、本学が21世紀においても高等教育機関としての社会的責任を果たし、世界の中でも存在感のある大学となるために、これらの事業計画を支え、かつ不透明な時代にも弾力的に施策が打てる本格的な財政基盤の安定化に向け全力を傾注していきたいと考えています。

第1表

## 平成12年度中央大学会計決算概要表

## 【資金収支計算書】

(単位：百万円)

支 出				収 入			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	19,819	19,499	320	学生納付金収入	25,994	27,441	△ 1,447
(教職員人件費)	18,189	17,773	416	手数料収入	1,790	1,913	△ 123
(退職金)	1,630	1,726	△ 96	寄付金収入	453	426	27
教育研究費支出	9,398	9,136	262	補助金収入	3,340	3,438	△ 98
管理経費支出	977	849	128	資産運用収入	913	1,026	△ 113
借入金利息支出	111	100	11	資産売却収入	0	275	△ 275
借入金返済支出	293	601	△ 308	事業収入	439	382	57
施設関係支出	7,015	605	6,410	雑収入	1,283	1,358	△ 75
設備関係支出	1,255	1,136	119	他会計繰入収入	773	668	105
資産運用支出	2,868	11,480	△ 8,612	借入金等収入	6,500	4,506	1,994
他会計繰入支出	157	192	△ 35	前受金収入	9,246	10,983	△ 1,737
その他の支出	1,116	974	142	その他の収入	1,894	2,276	△ 382
予備費	300	-	300				
支出調整勘定	△ 321	△ 310	△ 11	収入調整勘定	△10,482	△12,417	1,935
支出合計	42,988	44,262	△ 1,274	収入合計	42,143	42,275	△ 132
次年度繰越資金	14,784	15,665	△ 881	前年度繰越資金	15,629	17,652	△ 2,023
計	57,772	59,927	△ 2,155	計	57,772	59,927	△ 2,155
当年度収支差額	△ 845	△ 1,987	1,142				

## 【消費収支計算書】

(単位：百万円)

支 出				収 入			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
消費支出	33,114	32,486	628	帰属収入	35,057	36,818	△ 1,761
				基本金組入額	△ 2,084	△ 1,880	△ 204
当年度収支差額	▲ 141	2,452	△ 2,593	消費収入	32,973	34,938	△ 1,965
計	32,973	34,938	△ 1,965	計	32,973	34,938	△ 1,965

## 【貸借対照表】

(単位：百万円)

資 産 の 部				負 債 ・ 基 本 金 ・ 消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	114,236	104,278	9,958	固定負債	16,740	13,050	3,690
流動資産	16,924	18,860	△ 1,936	流動負債	12,695	12,695	0
				基本金	124,872	122,992	1,880
				累積収支差額	▲23,147	▲25,599	2,452
計	131,160	123,138	8,022	計	131,160	123,138	8,022

第2表

## 学 生 数 の 推 移

(単位：人)

			8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
学 部	在学生数 ( a )		30,903	30,755	30,170	30,129	29,573
			( 5,982 )	( 5,641 )	( 5,115 )	( 4,445 )	( 3,171 )
	収容定員 ( b )		27,695	27,750	27,750	27,750	26,652
			( 5,960 )	( 5,960 )	( 5,960 )	( 5,960 )	( 4,620 )
	充足率 ( a/b )		1.12	1.11	1.09	1.09	1.11
			( 1.00 )	( 0.95 )	( 0.86 )	( 0.75 )	( 0.69 )
大 学 院	在学生数 ( c )		1,017	1,194	1,375	1,636	1,833
	収容定員 ( d )		981	1,191	1,260	1,307	1,354
	充足率 ( c/d )		1.04	1.00	1.09	1.25	1.35

(注1) 各年度5月1日現在の学生数(修学延長生を含む)

(注2) 学部の下段( )内は二部で内数を示す

第3表

大学学部入学志願者数及び手続者数

(単位：人)

			法	経済	商	理工	文	総合政策	合計	予算数	増減
平成 12 年度	1 部	志願者	15,447	8,950	11,322	11,053	6,846	4,014	57,632	51,129	6,503
		手続者	1,855	1,284	1,123	1,049	1,082	253	6,646	5,686	960
	2 部	志願者	—	—	—	—	302	—	302	276	26
		手続者	—	—	—	—	98	—	98	150	△ 52
平13 成年 度	志願者	15,752	12,845	8,923	19,149	7,913	3,949	68,531	51,000	17,531	
	手続者	1,540	1,031	1,408	1,094	1,008	285	6,366	5,795	571	

第4表

教育・研究に関する目的別の主な支出項目と決算額

(単位：千円)

支 出 項 目	決 算 額	支 出 項 目	決 算 額
<b>教育関係費(学生)</b>	<b>632,888</b>	<b>研究発表助成</b>	<b>87,685</b>
学部学生図書費	4,997	<b>その他研究関係</b>	<b>107,634</b>
オリエンテーション等	15,645	教員研究図書資料複写補助	8,203
体育シーズンコース	9,845	学会出張旅費	45,635
客員等教員の招聘	11,718	学会補助費	2,780
学部教育補助	23,791	各種研究会補助	785
ゼミ連等補助	13,315	教員研究室運営	7,120
学生報告書・名簿作成補助	2,801	学術研究奨励金	2,458
理工学部実験実習費	363,935	その他	40,653
文系学部実習費	50,359	<b>研究所関係費</b>	<b>335,985</b>
理工学部バス見学	1,846	<b>図書館関係費</b>	<b>747,567</b>
教室・自習室の整備	4,039	<b>国際交流関係費</b>	<b>253,148</b>
大学院学科新設等	12,976	(留学生関係奨学金を含む)	
大学院研究年報	16,599	<b>情報処理関係費</b>	<b>1,172,703</b>
大学院論究発行	1,435	学部情報処理教育	223,304
理工学部大学院充実費	21,944	研究情報処理	10,357
院生研究資料複写補助	3,371	情報処理支援	939,042
院生学会発表補助	7,841	<b>課外教育関係費</b>	<b>300,069</b>
院生課外授業補助	675	法職講座運営費	142,333
教育実習等教職経費	11,443	クレセント・アカデミー	31,883
文学部各種資格課程	4,665	公認会計士講座補助	25,000
体育授業関係費	33,440	学生部主催セミナー等	8,917
その他	16,208	大学祭	11,737
<b>教育関係費(教員)</b>	<b>35,455</b>	新入生歓迎文化祭	380
教員室備付図書	911	連続講演会	123
学部学生引率旅費	17,230	学長賞	369
大学院生引率旅費	214	学友会活動への補助	47,455
教員複写補助	2,592	その他	31,872
教育懇談会等会議	3,122	<b>就職関係費</b>	<b>63,682</b>
自己点検評価	1,197	<b>学生福利厚生関係費</b>	<b>1,700,861</b>
その他	10,189	学生の健康管理	45,899
<b>教務事務関係</b>	<b>421,070</b>	奨学制度(留学生奨学金を除く)	1,212,296
<b>入学式・卒業式</b>	<b>29,935</b>	学生厚生施設	283,538
<b>研究費関係</b>	<b>968,678</b>	下宿・貸間斡旋等	1,814
研究用図書費(個人研究費)	216,877	学生食堂関係	139,163
特殊研究助成費	52,248	精神衛生	353
特別研究期間制度	10,102	その他(事故対策・見舞金他)	17,798
教員在外研究費	80,500	<b>入学試験関係費</b>	<b>403,569</b>
学内助成(特別図書・機械)	36,913	<b>広報関係「HAKUMONちゅうおう」刊行費</b>	<b>13,409</b>
私大研究設備装置補助	344,468		
受託研究	227,570		

**第5表 教職員数の推移** (単位：人)

職種	身分	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
		人数	人数	8年度との比較	人数	8年度との比較	人数	8年度との比較	人数	8年度との比較	
大学教員	専任	626	626	0	628	2	613	△ 13	607	△ 19	
	非常勤	1,474	1,479	5	1,478	4	1,515	41	1,470	△ 4	
	計	2,100	2,105	5	2,106	6	2,128	28	2,077	△ 23	
大学職員	専任	460	451	△ 9	438	△ 22	435	△ 25	431	△ 29	
	嘱託・室員	85	89	4	99	14	108	23	111	26	
	計	545	540	△ 5	537	△ 8	543	△ 2	542	△ 3	

(注1) 各年度12月31日現在

(注2) 平成11年度から発足した専任研究員(5名)を除く

**第6表 資産図書蔵書状況** (単位：千円)

部門	平成10年度		平成11年度		平成12年度	
	冊数	資産計上額	冊数	資産計上額	冊数	資産計上額
図書館	1,390,366	7,697,040	1,418,939	8,009,930	1,451,518	8,344,795
比較法研究所	47,647	324,695	48,445	337,135	49,068	347,976
経済研究所	51,005	209,924	52,548	218,877	53,292	224,148
企業研究所	42,055	173,103	42,735	184,979	43,578	194,170
人文科学研究所	24,681	130,195	26,264	138,654	27,667	148,883
社会科学研究所	14,793	93,233	15,104	95,580	15,392	98,514
保健体育研究所	1,898	8,294	2,038	8,639	2,138	8,901
政策文化総合研究所	246	4,148	3,271	7,319	3,448	10,664
計	1,572,691	8,640,632	1,609,344	9,001,113	1,646,101	9,378,051

**第7表 基本金組入額内訳** (単位：千円)

種別	内容	金額
第1号基本金	固定資産購入・受贈に伴う組入額	1,002,458
	借入金償還等に伴う組入額	152,489
	小計	1,154,947
第3号基本金	長谷川如是閑翁基金	1,065
	給付奨学生奨学基金	110,000
	大学院給付奨学基金	50,000
	大貸費奨学基金	343,594
	谷本利千代百年基金	8
	国際交流奨学基金	100,000
	指定試験奨学基金	100,000
	学術研究表彰基金	20,000
	三重野康・高木友之助記念学術奨励基金	1,000
小計	725,667	
合計	合計	1,880,614

**第8表 借入金等償還状況** (単位：千円)

借入事由	期首残高	当期借入額	元金返済	利息支払額	期末残高	最終償還年度
高校等施設充実費						
杉並高校校舎(私学事業団)	1,303,800	0	408,650	65,542	895,150	平成23年度
〃(都振興会)	105,883	0	35,294	3,893	70,589	平成14年度
〃(市中銀行)	0	300,000	15,000	4,419	285,000	平成22年度
計	1,409,683	300,000	458,944	73,854	1,250,739	
教職員福利厚生費						
教職員住宅資金(市中銀行)	613,730	0	142,260	26,367	471,470	平成20年度
キャンパス整備計画						
新校舎等建設費(学校債)	0	4,206,000	0	0	4,206,000	平成22年度
合計	2,023,413	4,506,000	601,204	100,221	5,928,209	

(注) 高校等施設充実費のうち、私学事業団からの借入金の一部について市中銀行への借替えを行った。